



オフィスにあふれる接触機会を
低減するには



感染源との接触機会を減らすことが有効。医師が指摘するリスクと対策

Contents

■ 新型コロナウイルスの感染メカニズム 接触感染・飛沫感染対策の重要性	3
■ オフィスで行うべき9つのコロナ対策 これからの対策とリスクが潜む場所	4
■ テクノロジーを用いた“非接触”的取り組み	
① パナソニックの非接触ソリューション	5
② 統合型セキュリティシステム 「eX-SG」	6
③ その他のテクノロジー	7~8
■ パナソニックが提供するワークプレイス向けソリューション	9

いまだ終息の見えない新型コロナウイルス感染症は、働き方を含めた私たちの生活様式に大きな変化をもたらしている。オフィスで感染を防ぐために気を付けるべきことは何か？ 感染源との接触機会を減らすことが感染症対策に有効だとするのだが、中央大学大学院 戦略経営研究科教授、多摩大学大学院特任教授で医師でもある真野俊樹氏だ。専門の立場からオフィス空間で留意すべきポイントをご説明いただきました。

真野 俊樹氏

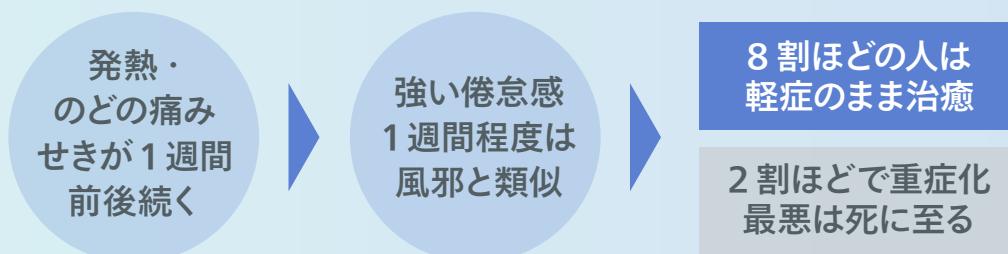
中央大学大学院 戦略経営研究科教授
多摩大学大学院特任教授
医師



新型コロナウイルス感染メカニズム

接触感染・飛沫感染対策の重要性

当初、新型コロナウイルスは
ウイルス性の風邪の一種であり、
普通の風邪とさほど変わらないと認識されていた



問題点は軽症者で自覚症状もない感染者から
クラスターを引き起こしかねないということ。

新型コロナウイルスの場合は
接触感染・飛沫感染が多いとされている。

国・行政がこまめな手洗い・消毒・マスク着用・
換気・ソーシャルディスタンスなどを強く推奨。



このページのまとめ

一般的なウイルス感染症

この3つのいずれかによって起こる

接触感染

直接的に触れて感染

飛沫感染

くしゃみなどで飛散した唾液から感染

空気感染

空気中で蒸発した唾液がエアロゾルのような形でそのまま空気中を漂い、そこから感染するイメージである。

主な対策



手洗い



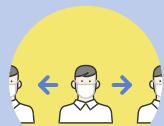
マスク



換気



消毒



距離 ソーシャルディスタンス

オフィスで行うべき9つのコロナ対策

これからの対策とリスクが潜む場所

- 1 人が集まる休憩室や食堂などの**利用を制限する**
- 2 対面での業務を減らし、**ビデオ会議などを利用する**
- 3 執務中、人との間の**距離は2m以上に保つ**
- 4 不急の社内研修・セミナーなどの**リアルイベントは延期・中止する**
- 5 会社主催の**多人数の懇親会などは中止する**
- 6 **消毒液**(次亜塩素酸ナトリウム、消毒用エタノール)や**マスク**の配備
- 7 **非接触型体温計**の配備
- 8 空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下、
加湿器などを使って**適切な湿度(50 ~ 60%)**を保つ
- 9 社員の健康状態のモニタリングを行う



危険なシチュエーションを少しでも減らすにはどうしたらよいのか。

解決策としてテクノロジーの活用が欠かせない。



このページのまとめ

■ リスクが潜む場所に対策を!

ビル内



入退管理システム
トイレ
ドアノブ
洗面所
エレベーター
エスカレーター
など

オフィス内



勤怠管理システム
ドアノブ
パソコン
回覧資料
照明スイッチ
会議室
エアコンスイッチ
ホワイトボード
机・椅子
ドリンクサーバー
など

マスクを外さなければならぬ
食事中やたばこ休憩時も要注意!

テクノロジーを用いた“非接触”の取り組み

① パナソニックの非接触ソリューション

テクノロジーを用いた“非接触”あるいは“接触機会低減”的取り組みは進んでおり、パナソニックでは、これまで培ってきた技術の組み合わせでオフィスにおける感染リスクに配慮した非接触ソリューションを提案している。

パナソニックのテクノロジー

統合型セキュリティシステム



連携システムラインナップ

- 顔認証システム「KPAS」
- カードリーダや顔認証による「エレベーター先行予約連携」
- 非接触型入退室管理システム「QRコード」

その他

- 「かってにスイッチ」
(微動検知形)



このページのまとめ

先進の「セキュリティ」と
ホスピタリティを提供します

多彩なシステムと連携したトータルソリューション



テクノロジーを用いた“非接触”の取り組み

② 総合型セキュリティシステム「eX-SG」

統合型セキュリティシステム



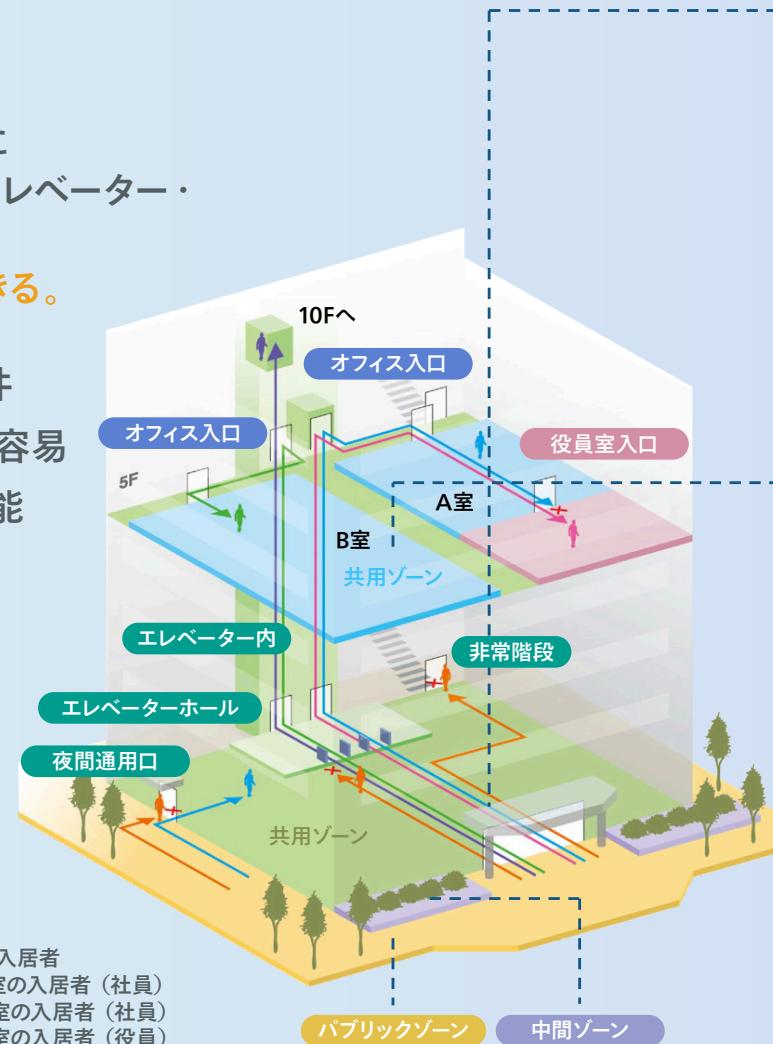
オフィスビルの共用ゾーン・専用ゾーンにある入退室管理・映像監視・顔認証・エレベーター・無人QRなどの各種システムを統合でき、オフィス全体で非接触の環境を実現できる。

- システムに登録できる無人IDは10万件
- ID統合管理と顔認証端末との連携も容易
- 履歴の統合管理をサーバーで集約可能
- 行動履歴を追跡可能可能

例えば感染症の発症者が出ていた場合でも、濃厚接触者の行動履歴を追跡することができる。

動線の凡例

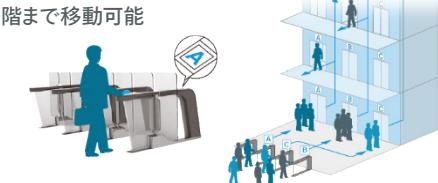
- 外来者
- 10階の入居者
- 5階B室の入居者（社員）
- 5階A室の入居者（社員）
- 5階A室の入居者（役員）



1 共用ゾーン

エントランス、通用口、エレベーター、入居者も外来者も利用する場所

エレベーターの運行を自動コントロールすることにより、EVボタンを押さずに目的階まで移動可能



2 専用ゾーン

オフィスなど入居者が専用に使用する場所

従来のカードリーダーだけでなく、顔認証端末を使えば使えば「非接触」で入退出が可能。



3 管理について

eX-SGがIDの総合管理を実施、従来のカードリーダー及び扉の管理に加えてEVの自動制御や顔認証関連も1元管理します。



テクノロジーを用いた“非接触”の取り組み

③ その他のテクノロジー

顔認証システム「KPAS」

通常時にはハンズフリー（非接触）かつストレスフリーな入退出を実現でき、将来対応予定の“検温”機能との組み合わせで、非常時にも、感染リスク者を入室前に特定する運用が可能になる。

カードリーダや顔認証による 「エレベーター先行予約連携」

従業員の目的階を事前登録しておくことで、ゲート通過時に乗車エレベーターの号機を表示。エレベーターのボタンを押すことなく、効率よく目的階まで移動できる。「非接触」に加えて、オフィスビルでの朝のエレベーターの混雑軽減が可能になる。

非接触型入退室管理システム「QRコード」

事前アポイント時に受付番号をメールで通知し、受付もしくは自動受付機でQRコードを発行して入場。来訪者の入退室管理や受付業務の効率化や無人化もできる。



このページのまとめ

eX-SGとの連携システム

統合型セキュリティシステム

eX-SG



顔認証システム
「KPAS」との連携



「エレベーター」
との連携



「無人QRシステム」との連携



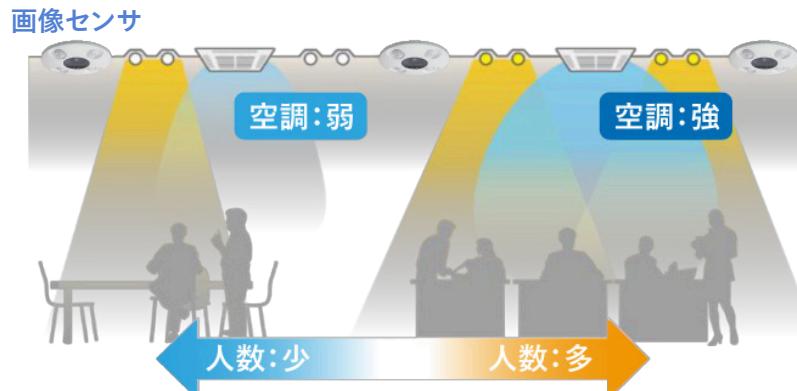
テクノロジーを用いた“非接触”の取り組み

③ その他のテクノロジー

画像センサによる空調制御

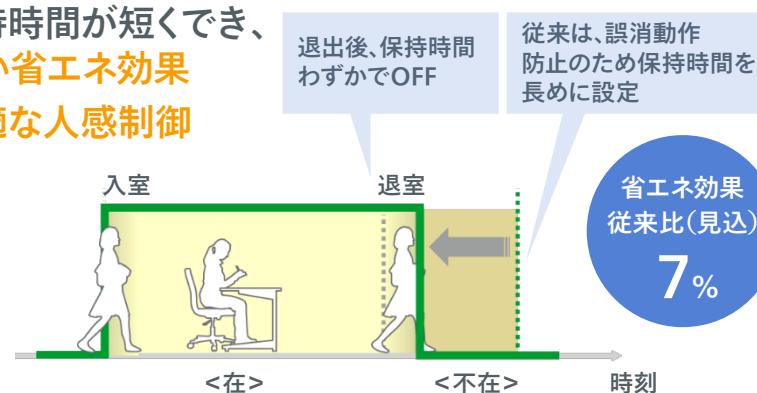


検知エリア内の混雑度を検知して空調制御



画像解析による微動検知

- 保持時間が短くでき、
高い省エネ効果
- 快適な人感制御



空調制御だけでなく明るさセンサの機能統合

- センサの台数を削減し、天井の意匠性が向上



パナソニックが提供する ワークプレイス向けソリューション

これからのワークプレイスに求められる 3つの視点

ニューオーマル時代に求められるワークプレイス空間の環境づくりを、
3つの視点からお手伝いします。

安心・安全への配慮と新しい働き方、 生産性向上をデータ活用で実現

パナソニックは、次の3つの視点でワークプレイスをアップデートするソリューションを提供します。1つ目は、ニューオーマル時代に備える「安全・安心に配慮した空間」。2つ目は、大きく変化する「新しい働き方への対応」。3つ目は、ヒト・環境・設備から取得した「データ活用による空間アップデート」。これらの視点を基に、テクノロジーを駆使して、社員が生き生きと健やかに働くことができる環境を提供します。



詳しいソリューションの内容は是非、お問い合わせください▶

(お問い合わせ先)
パナソニックの空間ソリューションWEBサイト
<https://www2.panasonic.biz/lz/solution/office/index.html>

